



# しいのみつうしん

第78号 2016年1月

## 子どもの発熱



子どもはよく熱を出し、夕方から夜にかけて高くなることがよくあります。夜中や休日に子どもが急に発熱すると、心配になってすぐ救急受診したくなりますが、ちょっと待って！  
多くの発熱は、1・2日で下がることが多いのです。  
混んだ救急外来で待つより、家庭でゆっくり看病してかかりつけ小児科を受診した方が良い場合もあります。

### 熱は防御反応です

体温が上がると、体内のウイルスや細菌の活動が鈍くなると同時に、体の免疫細胞の活動が高まって攻撃力が高まります。

そのため体内にウイルスや細菌が入ってくると、脳が“体温を上げろ”と指令しているのです。

### 発熱とは？

通常、37.5℃以上、または平熱より1℃以上を発熱と呼びます。

また、測る場所（脇の下・口腔内など）によって温度が異なります。

測る機器によっても、表示する値が違う場合が多々あります。



### 高熱で、頭がおかしくなったり、熱性けいれんになったりするのでは？

脳にダメージを与える髄膜炎や脳炎は、熱だけが原因ではありません。

また熱性けいれんは、熱が急激に上がるときに起こります。上がりきってしまえば起こしにくくなりますし、解熱剤で予防できるものではありません。

### まず子どもの様子を見ましょう

元気はあるか？

他に症状はあるか？…呼吸の様子・痛み・消化器症状

尿（出ているか？色は？）など

熱と測った時間は、メモを取っておきましょう。



## 次のような場合は、早めに受診しましょう

1、3 ヶ月未満の乳児	
2、ぐったりとして体を動かさない、意識がおかしい	
3、呼吸が苦しい	
4、半日以上おしっこが出ていない	
5、水分が取れない	
6、発熱が長引いている	
7、けいれんをおこした	
8、インフルエンザ流行時期の急な高熱と関節痛	
9、その他、熱以外の症状がひどい（下痢・嘔吐など）	

上記以外の場合は、水分をこまめに飲ませて様子を見てください。

熱がなかなか下がらなくてつらそうなときには、解熱剤を使います。

子どもに使っていいのは、アセトアミノフェンです。錠剤・粉薬・坐薬などの剤形があり、効果は変わりません。

体重などを元に用量が決まっているので、兄弟の薬をそのまま使ってはいけません。

○しいのみセンター薬局でも、次のような一般発売薬(OTC薬)の扱いがあります。

しいのみ解熱剤（粉薬・1歳以上）、タイレノール錠（5歳以上）

## 気をつけるポイント

☆ 熱がでると、身体から水分が蒸散してたくさん失われます。水分をしっかり補給してください。発熱期間が長引いたら、スポーツドリンクなどで電解質を補充することも必要です。

☆ 熱を出すためにエネルギーがたくさん使われますので、消化がよく食べやすいものを食べさせましょう。

☆ 解熱期にはたくさん汗をかきます。こまめに着替えをさせましょう。

☆ 部屋の温度は快適に。湿度にも気を付け、乾燥しすぎないようにしましょう。

☆ 熱中症が原因の場合は、解熱剤が効かないことが多いので、物理的に熱を下げる方法が有効です。その際、保冷剤は皮膚にダメージを与えるので、やめましょう。

### ★お知らせ★

「第3回しいのみ禁煙教室」開催決定!!!

日時：2016年1月28日（木）17:30~18:30

会場：しいのみセンター薬局待合室

●参加無料！予約制です。

申込・お問い合わせはしいのみセンター薬局（058-241-1818）まで。\*受付でも申込できます！



みんな来てね！！

しいのみ薬局 関市上白金 105-1 ☎0575-27-0130 Fax 0575-27-0131

しいのみセンター薬局 岐阜市北山 1-14-27 ☎058-241-1818 Fax058-241-1839

華陽しいのみ薬局 岐阜市祈年町 1-19-2 ☎058-271-1640 Fax058-275-1949

南しいのみ薬局 岐阜市芥見南山 2-8-47 ☎058-244-2112 Fax058-244-2110

お薬や「健康食品」のことなどに関してお気軽にご相談下さい。

ファルマネットぎふ ホームページ(<http://www.gifu-min.jp/pharma/>)